

令和6年1月17日 佐藤

～ まちなかに北斎を。北斎美術館との連携で両国まち歩きをさらに盛り上げます ～

地元金融機関が葛飾北斎の銅像を含む「北斎ギャラリー」を設置

東京東信用金庫（本部：墨田区両国4-35-9）では、葛飾北斎やその作品をさらに身近に感じてもらう取組みとして、平成27年に本部ビルの外壁や店舗内に、北斎作品をデザインしたフラッグやパネルを掲示した「ひがしん北斎ギャラリー」を設置し、北斎にゆかりの深いまち両国をPRしてきました。

このたび、墨田区出身のデザイナーである高橋 正実氏の監修により、同ギャラリーをリニューアルし、外壁にエキスパンドメタルによる富士山を描くとともに、北斎のブロンズ像を設置しました。

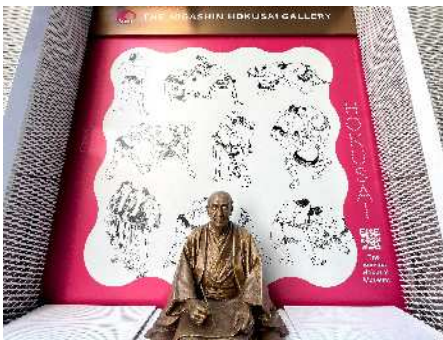
区では、同ギャラリーの完成に向け、すみだ北斎美術館 AURORA（常設展示室）内「北斎アトリエ」の再現模型を踏まえてアドバイスなどを行うとともに、壁面などで使用する同館が所管する作品について、画像の提供や解説文の監修などを行いました。

設置される北斎像は、誰でも気軽に北斎と「肩を組んで」写真を撮れるスポットとして開放され、北斎の生誕地として、両国エリア全体を地域で一体となって盛り上げていく取組みとなっています。

1月16日（火）にひがしん本部ビルにて開催された完成記念式典では、区長やすみだ北斎美術館館長らに加え、高橋氏による今回の改装に関する説明、記念撮影などが行われました。

区長は「これまで北斎の魅力発信にご協力をいただいていたが、この場所の完成を機に、これからもますます東京東信用金庫や、地元の皆さんとともに、『北斎のまち すみだ』を発信していきたい。」と両国エリアを盛り上げる新たなスポットの完成を喜びました。

《写真》 北斎ギャラリー



記念式典の様子



《参考情報》

ひがしん両国本部は、天保年間（1830～1844年）の末頃、葛飾北斎と娘のお栄が居住していた「榛（はんのき）馬場」（現在の榛稲荷神社）に近い場所に存在しています。

その住まいの様子は、北斎の弟子が「北斎仮宅之図」/ 露木為一（つゆきいいつ）画」（国立国会図書館蔵）に残しており、その絵を再現したものは、すみだ北斎美術館 AURORA（常設展示室）にて展示しています。

《問合せ》すみだ北斎美術館（担当：和田）

03-6658-8931

東京東信用金庫（担当：峯岸）

03-5610-1114

お問い合わせは午後5時までお願いします。（広報広聴担当

03-5608-6220）